

【平成29年1月に発生した死亡災害】

	発生日	業種	事故の型	災害発生状況
1	1月5日 (成田)	バス業	飛来、落下	敷地の造成を行うために、チェーンソーを使用して樹高約10mの樹木の伐木作業を行っていたところ、伐倒した樹木と近傍の樹木との間につるが巻き付いており、伐倒に伴い、当該近傍の樹木が高さ5.8mの箇所まで折れ直撃した。
2	1月7日	ゴルフ場	おぼれ	ゴルフ練習場の池にある人工島で、ゴルフボールの回収作業を単独で行っていた被災者が、人工島に渡るため接岸させていたボートが岸から離れてしまったため池に入り泳いでボートを追いかけていったところ、人工島から約20mの付近で水中に沈み姿が見えなくなった。
3	1月10日	その他の事業	交通事故(道路)	出張のため、自宅から高速バスの停留所に向かい横断歩道を歩行中、交差点を右折してきたトラックと接触した。
4	1月12日	上下水道工事業	激突	下水道管設置工事において、深さ約6m、直径3.5mの到達立抗内で既設下水道管の解体作業を行っていた。既設下水道管の下面部分をクラムシェルで地上に引き上げようとしたが、持ち上がらなかったため、クラムシェルのアームを左右に振ったところ、バケットの爪がはずれ、その反動で振り子のように振れたバケット部が被災者の頭部に激突した。
5	1月21日	その他の卸売業	激突され	舗装工用振動ローラー(重量580Kg)にチェーンを掛けフォークリフト(2.5t)でつり上げ、走行してコンテナ内に積み込むため、被災者がフォークリフトを誘導していたところ、フォークリフトのマストとコンテナ入口の内壁の間に頭部を挟まれた。
6	1月24日 (成田)	農業	はさまれ、巻き込まれ	被災者は、苗用の土の製造工程において、翌日に行う他品種の土の製造に備えるため、機械を停止し、ほうきを使用してコンベア部等の掃除を行っていた。清掃作業終了後、被災者は機械を起動させたが、シャフト周辺に除去出来ていない土を発見し、これを手でかき落とそうとしたところスクリーに右上腕が巻き込まれた。
7	1月25日	一般貨物自動車運送業	交通事故(道路)	同僚がトラック事故を起こしたため、被災者は事故現場へ駆けつけた。被災者は乗用車を路肩に止め、外に出ていたところ、後方から来た大型トラックが同僚のトラックに追突した。押し出された当該トラックが被災者をはねて死亡した。
8	1月26日	その他の土木工事業	飛来、落下	樹木の剪定作業を行うため、伐採しようとする木の一部にロープを固定して2トントラックにつなぎ、被災者は高所作業車に乗り、高さ約3.5mの箇所でチェーンソーを用いて幹を切断し、同僚がトラックを運転して木を引っ張って倒そうとしたところ、切り落とした木が被災者に落下したものの。

### 【平成29年2月に発生した死亡災害】

	発生日	業種	事故の型	災害発生状況
1	2月17日	機械器具製造業	爆発	工場内の量産ブースの作業場内及びその付近において、アルミニウム粉を含有した塗料を、エアースプレーガンを使用して塗装作業を行っていたところ、量産ブース内で爆発が発生して、同量産ブースの設備から周囲のガラスビーズバーニッシュ設備（ガラス粉吹付設備）に延焼した。この事故により、労働者2名が広範囲熱傷のため死亡した。
2	2月18日	砂利採取業	墜落・転落	ベルトコンベヤーのチェーンが弛んでいたため、コンベヤーを停止させてチェーンの張り調整作業を3名で行っていた。被災者がベルトコンベヤーのベルトに上り（地上約7m）、ボルトの締め付け作業をしていたところ、バランスを崩す等により、手すりの無い側から地面に墜落した。被災者は、安全帯及びヘルメットを着用していなかった。
3	2月25日	その他の建築工事業	墜落・転落	一般住宅外壁塗装工事において、養生のため一側足場上で単独作業を行っていた被災者が、現場内の道路上に倒れているところを通行人が発見した。被災者は高さ2.8mの足場から墜落したものと推測される。被災者はヘルメット、安全帯を着用していなかった。

### 【平成29年3月に発生した死亡災害】

	発生日	業種	事故の型	災害発生状況
1	3月28日	木造家屋建築工事業	墜落・転落	二階建て木造住宅の保証更新における防水工事で、外壁シーリングの更新作業を行っていた被災者が、①玄関上の屋根庇に設置した脚立上から、あるいは②玄関前の駐車場に設置された脚立上から墜落し、頭部をコンクリート製の駐車場に打ち付けたと推測される。
2	3月30日	一般貨物自動車運送業	激突され	搬入のために上りスロープでロールボックスパレットを押していたところ、スロープを上りきる前にロールボックスパレットが倒れ、被災者はその下敷きになり死亡した。

### 【平成29年4月に発生した死亡災害】

	発生日	業種	事故の型	災害発生状況
1	4月10日	産業廃棄物処理業	おぼれ	被災者は、産廃の中間処理場において箱型のダンプ車を高圧洗浄機で洗車する作業を行っていた際、荷台を洗浄するために荷台の天井に備わっている前方の蓋を前方に、後方の蓋を後方に開けて、前方の蓋を荷台に固定せずに荷台を上方に傾き続ける操作を行い、荷台上で洗浄作業を行っていたところ、荷台を大きく傾けたことにより、前方の蓋が倒れて被災者に激突し、泥水が入っている洗車ビットに転落した。
2	4月21日	農業保存食料品製造業	激突され	トラックからフォークリフトを用いての荷下ろし作業において、フォークリフト運転者がフォークリフトを後方移動させた時、トラックの荷を確認していた被災者に激突した。
3	4月26日	セメント・同製品製造業	はさまれ、巻き込まれ	コンクリートミキサー車（ドラム内）の洗浄液を水、砂、砂利に分離させる機械（トロンメル分級機：横型ドラム式）を上部から清掃していたところ、回転部に巻き込まれた。一人作業であった。 砂利を分離させる網目に砂利が詰まってきたので、それを除去するためエアピックで作業を行っていた或いは行おうとしたところ、当該機械が回転し始めて巻き込まれた。起動は、タイマー起動であった。

### 【平成29年5月に発生した死亡災害】

	発生日	業種	事故の型	災害発生状況
1	5月1日	トンネル建設工事	墜落、転落	ずい道の立杭（深さ約40m）に、7.2mの高さごとに4段にステージを設置し、グレーチングを敷いていたが、掘削設備等の搬出のため、各段のグレーチングを一部外し、開口部を設けた。 設備の搬出後、当該開口部を下の段から塞ぐ作業を行っていたところ、下から2段目のステージにおいて、開口部を塞ぐ作業を行っていた労働者が、当該開口部から一段下のステージに墜落した。
2	5月11日	石油製品・石炭製品製造業	高温・低温の物との接触	被災者はアスファルトを保存していた合材サイロ内において、アスファルトのはつり作業を行っていたところ、サイロ内に付着していたアスファルトの塊がサイロの排出口を塞いでしまい、被災者はサイロ内に閉じ込められ、サイロ内の熱により、重傷の熱傷等を負い、3日後に死亡した。
3	5月29日	その他の食料品製造業	はさまれ、巻き込まれ	食品加工用混合機の殺菌洗浄後の水滴拭き取り作業を行うため、混合機の羽根を可動させたまま上半身を混合機の釜（内径80cm、深さ90cm）の内部に入れたところ、回転する羽根と釜の内側の間に首を挟まれた。

### 【平成29年6月に発生した死亡災害】

	発生日	業種	事故の型	災害発生状況
1	6月12日	その他の建設業	墜落、転落	被災者は、火災によりホール天井に付着したすすの除去作業の仕上げとして、当該箇所に脱臭用の薬剤を噴霧するため、作業足場（全12層）の9層目（高さ約14m）で作業していた方向から何か落ちる音が聞こえ、現場監督が駆けつけたところ、被災者が1階床で倒れているところが発見された。発見時に被災者は安全帯を使用していたが、不使用だった。
2	6月14日	一般貨物自動車運送業	交通事故（道路）	被災者は当日午前3時50分に点呼を受け、群馬県伊勢崎市内にコイルを運搬するためトレーラーで事業場を出発した。午前5時頃、習志野市内を走行中、交差する市道を走っていたワゴン車と出会い頭に衝突し、トレーラーは横転した。この事故でトレーラーを運転していた被災者は全身を強く打ち死亡した。

### 【平成29年7月に発生した死亡災害】

	発生日	業種	事故の型	災害発生状況
1	7月12日	その他の建築工事業	墜落・転落	ビルの5階の雨漏り補修工事を行っていたところ、何らかの原因で脚立ごと落下した。
2	7月18日	土地整理土木工事業	崩壊・倒壊	宅地造成工事現場において、マンホール・管の設置作業中、型枠にコンクリートを流し入れたところ、型枠が開き、崩れる危険が生じた。そのため、被災者と現場の副責任者の2名で型枠の補強を行うべく、掘削した箇所に進入したところ、側面の土砂が崩壊し、被災者に降り掛かり、生き埋め状態となった。
3	7月23日	機械修理業	感電	出張先である倉庫の天井クレーン（吊り上げ荷重10.5t）の点検作業において、走行ストッパー取付ボルトの締め付けを作業員2人で行っていたところ、作業員1人がトロリー線に触れて感電した。
4	7月25日	その他の建築工事業	墜落・転落	一般住宅の煉瓦の積み直し工事において、資材の屋根への持ち込み等準備作業中、屋根から墜落した。（軒の高さ約6m）

【平成 29 年 8 月に発生した死亡災害】

	発生日	業種	事故の型	災害発生状況
1	8 月 11 日 (成 田)	水運業	はさまれ・ 巻き込まれ	観光船の最前部で立って船頭をしていた被災者が、橋桁底部の H 鋼と、観光船の屋根との間に頭部を挟まれたもの。
2	8 月 13 日	警備業	転倒	被災者は斎場の屋外において来客者の案内と車両の誘導を行っていた。斎場において告別式が開始され、新たな来客者も途絶えていたところ、被災者が斎場前の道路の路側帯に後頭部を打ちつけ倒れていたところを、通行人に発見され、救急車で病院に搬送されたものの、病院にて死亡が確認された。
3	8 月 18 日	一般道路貨物 運送業	はさまれ・ 巻き込まれ	業務が終了し、事業場駐車場にトラックを駐車する際に目視でトラック周囲を確認するため、トラックから下車した。その直後、トラックが前進し、それを止めようとした運転者がトラックにひかれた。
4	8 月 26 日 (成 田)	その他の事業	崩壊・倒壊	被災者は、倉庫内に 4 段に積んでいたフレコンバッグ（重さ 1 トン。高さ 1.1m）の一部が崩れる気配があったため、はい替えを行うためにフォークリフトを運転して手前にあるフレコンバッグを移動させようとしたところ、フレコンバッグが崩れ、被災者はフォークリフトから降りたものの、崩れたフレコンバッグの下敷きとなった。
5	8 月 27 日	陸上貨物取扱業	はさまれ・ 巻き込まれ	線材梱包ラインの最終工程であるラベル貼りを終え、自動搬送台車によりクレーンでの吊り位置まで搬送すべく、搬送台車の起動ボタンを押した際、台車上にカッターナイフを落としていることに気づき、取りにいったところ、荷をクレーン吊り位置に預け終わった当該台車が戻ってきたため、台車の車輪に右足をひかれた。
6	8 月 27 日	自動車整備業	はさまれ・ 巻き込まれ	10 トンダンプの車検整備作業で、ヘッドランプ、ウインカー等のライトの点灯を確認するため、被災者が目視確認し、もう 1 名が運転席でライト点灯操作を行っていた。バックライトの確認をするため、被災者が当該ダンプの後方に立ち、もう 1 名がバックライトを点灯させるためギヤをバックに入れた瞬間、当該ダンプが後方へ急発進し、被災者は当該ダンプの後方約 3 m の箇所に停車していた別の 10 トンダンプとの間に頭部を挟まれた。